

<肺炎球菌感染症>

今回は肺炎球菌感染症とその予防についてご紹介します。まず肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。日本人の約3～5%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされており、健康で体力のある状態ならば免疫力が十分あるため感染症を起こすことはありません。しかし体調を崩すなど何らかの原因で免疫力が低下している時や風邪を引いた後などに発症することがあります。これらの菌が何らかのきっかけで増殖することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

肺炎球菌による感染症にかかることが多いのは、5歳未満の乳幼児や65歳以上の方です。5歳未満の乳幼児では免疫機能が未発達のため肺炎球菌に対してうまく免疫が働きません。また65歳以上の方では加齢とともに免疫力が低下し始めるので感染症にかかりやすくなります。

<肺炎球菌ワクチン>

肺炎球菌による感染症を予防するワクチンです。肺炎球菌にはたくさんの型があるのですべてを予防できるわけではありませんが、接種しておくことでワクチンに入っている型が原因のものに予防効果が期待されます。肺炎球菌ワクチンには定期接種で受けることのできる多糖体ワクチンがあります。詳しくはお近くの医療機関にご相談下さい。